

こころん通信

第 15 号

平成 20 年 4 月 18 日発行

発行者:NPO法人こころん(生活支援センターこころん)

〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字下根岸 9

TEL:0248-54-1115 FAX:0248-53-3063

MAIL:kokoron@r2.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.cocoron.or.jp>



グループホームまもなく完成!

グループホームの名前募集!

NPO 法人こころんでは、新しく完成するグループホームの名前を募集しています。入居者の方々が楽しく安心して過ごせる住まいとなるよう素敵な名前を考えて下さい!

採用された名前を考えて下さったかた 1 名様(複数の場合は抽選)に、こころんやギフトセットをプレゼント。ぜひ応募して下さい。

締め切り: 4 月末日

* 応募はお電話または FAX でこころんまで。

こころんでは、2つめのグループホームが誕生します。

グループホームは、「障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業」のひとつで、当法人の運営する第 5 番目の福祉施設となります。

このグループホームは、より地域との結び付きを大切に、障害があっても普通の生活と変わりがなく、しかし支援を受けながら安心して地域生活が営めるよう、世話人や生活支援員が配置され、食事のサービスや日常生活の支援が受けられます。

定員は男子 6 名・女子 5 名の 11 名です。

全て個室となっており、すでに入居者も数回のミーティングを重ねて、完成を楽しみに待っています。

目次

P1・・・グループホーム完成間近!

P2・・・クリスマス会交流会 / アート展

P3・・・酒造り交流会 / なごみのコロッケ

P4・・・にこにこ屋 / 生産者会議・交流会

P5・・・いちごまつり / メッセージ / メディア掲載情報

P6・・・みんなの広場

P7・・・こころん就業セミナー報告

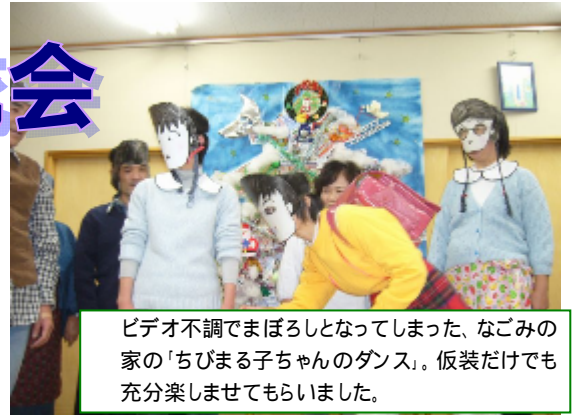
P8・・・行事予定



クリスマス交流会

昨年12月18日、生活支援センターこころで恒例のクリスマス交流会が開催されました。

会食の後、こころん、こころやのメンバーで結成した「THE CORORONS」が演奏。練習時間は少なかったけれど、目立ったミスもなく演奏できました！



ビデオ不調でまぼろしとなってしまった、なごみの家の「ちびまる子ちゃんのダンス」。衣装だけでも充分楽しませていただきました。

クイズ大会では、司会を担当したスタッフの小川さんが、問題の答えをうっかり言うてしまうハプニングに爆笑の渦の中、勝ち残った方には、こころや商品のビッグいちご等がプレゼントされました。

各施設の出し物は、ウッドピアはなわさんの独唱やこころん、こころやでの「赤鼻のトナカイ」の合唱、こころんメンバーのクラシックのピアノ独奏と形態模写。続いて、なごみの家のダンス(ビデオ不調で断念！)

プレゼント交換では、各自持ち寄った物を、受付の時に引いたクジの番号順に頂きました！ いろいろなプレゼントがあって面白かった！



BANDのヴォーカルと司会を担当。「緊張したけど、楽しかった～(キャサリン)」



ちょうど雪がちらついて、ホワイトクリスマス気分だったし、盛り沢山の内容と、司会の皆さんがおかしくて、とっても楽しかったです！(MIKA)

料理担当のみなさん
おいしかった～ ありがとう！

司会に初挑戦！

私の一番想い出に残った事は、前日にいっぱいリハーサルをしたのに、当日になると頭が真っ白になりテンパってしまったことです。

クリスマス会は初めてでしたが、かなり楽しかったです。(ロボコン)

ご協力ありがとうございました！



チャリティアート展開催

昨年11月17日・18日、生活支援センターこころで「チャリティ・アート展」が開かれました。前年よりも出展される人も増えて、一層充実した内容となりました。

陶芸、絵画、彫刻、書、漆工芸、木工、クレイアート、皮工芸、切り絵等、一点一点、ゆっくり見て回ると、それぞれの個性が溢れ、魅力的な作品ばかりです。

プロ、セミプロ、そしてこころで月2回開かれている絵画教室やカラーセラピーに参加している人達の作品や、泉崎村障がい者支援センターの生徒さんの作品も展示されました。

「アート」とは芸術・美術を指す言葉ですが、美しいものは、私達の心を満たし、安らぎを与え幸福にします。二日間、こころんが小さな美術館となり、普段あまり目にすることがない、さまざまな作品にふれ、至福の時を過ごしました。参加していただいた多くの方々に感謝を申し上げます。

アート展の収益はこころんの活動費、運営費として使わせていただきます。また、次回も多くの人達に楽しんでいただく為の工夫をし、ゆったりと、くつろげる空間を持ちたいと願っています。

1年に1回の機会ですが、新しい作品発表の場として、活用していただければ幸いです。ご来場下さった皆様、ボランティアに参加した皆様に、心から感謝申し上げます。(R・K)

里山再生プロジェクト 酒づくり交流会 開催

2008年2月15日(金) 白河市ホテルサンルート白河にて酒造り交流会が開催されました。

福島県県南地方には、酒造りを通じて地域づくりに取り組む団体が数々あります。酒造り交流会はそれらの団体が協力して、地域内外へ発信するとともに、参加者同士の情報交換を行うことを目的としています。

NPO法人こころんは里山再生プロジェクトの一員として、田植えから稲刈りまで参加しています。

収穫した酒米は、大木代吉本店で料理酒に醸造され、今回の交流会でも里山再生プロジェクトのブースで出品しました。

参加された皆さんはこの日、地酒を通じて親睦を深められたようです。皆さんも来年の酒づくり交流会には是非ご参加を！ (良ちゃん)



出品酒

宮本(美味しい酒を造るプロジェクト)

初舞台、柿酒・秋美人

(里山大信で日本一美味しい日本酒を創る会)

ほたる(福島農場)

愛郷の輝き

(泉崎村愛郷の輝き交流事業実行委員会)

びゃっこのい泉、天狗のかがやき

(表郷いいもの開発協議会)

料理酒(里山再生プロジェクト実行委員会)

2007年の里山再生プロジェクトの活動はこの交流会をもって修了しました。

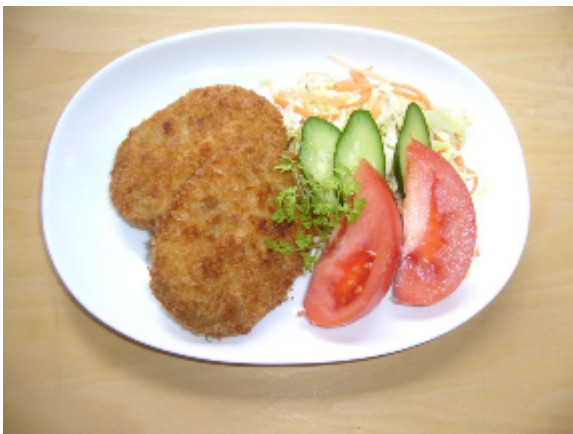
2008年もまた、みなさまと共に田植えから酒づくりまで楽しみたいと計画しています。ぜひご参加くださいますようお願いしております。

なごみの家のあじわいコロッケ

なごみの家では、今年1月から「調理部門」を始めました。

予てから「調理部門」を計画し、施設整備や何を作るかなどみんなで考えました。

これまで既に“もち加工”を始めていましたが、“五目おこわ”と“コロッケ”が加わりました。



材料も販路も無論「こころや」さんです。

コロッケは当初、「1日25~30個の生産予定です」と真顔で言っていて、周囲の人々から失笑されました。現在は、1日100個程度を販売しています。

「味は?」「風味は?」一つ一つ毎日毎日なごみのみんなが料理評論家でした。味が無い、塩辛すぎる等々、なかなかの気難しい評論家みなさんの意見を集大成してコロッケができました。なごみのみんなで作上げた“あじわいコロッケ”どうぞ召し上がれ!!

これからも「こころや」さんの野菜を食材としたお惣菜を開発していきたいと思っております。皆様どうぞ応援してください。(コロッケおばさん)

このごろの

直売 カフェ こころや

このコーナーでは、こころんが運営する職業訓練施設「直売 カフェ こころや」の最近の様子をお伝えします。

にこにこ屋開店

昨年 12 月 18 日、白河市本町にチャレンジショップ「にこにこ屋」が開店しました。同店は、地元スーパー撤退後、買物に不自由する地域の方のため、有志が集まって週 1 回だけ開店する直売所です。

その意義に賛同した「こころや」も出店することになり、私は担当者となりました。

前日の各生産者への発注から、当日の野菜・果物等の準備(手間が掛かります)そして、本町店への搬入・販売、実際に売れた数合わせまでを担当しています。

かれこれ四ヵ月になり、ようやく慣れてきたところです。にこにこ屋での売上げも少しずつ上がり、本町近辺の人々にもだいが浸透して(愛され)きました。私は白河市内の出身なので、市街地活性化のため、にこにこ屋の出店には協力したいと思っていましたので、やりがいを感じます。

今後も徐々にではありますが、売上を伸ばす努力を重ね、また市民に愛される「市街地の直売所・にこにこ屋」の発展に尽力したいと思います。

皆様のお陰で成り立っているみんなの「にこにこ屋」をこれからもよろしくお願いします。(佐藤 栄一)



生産者交流会



2 月 25 日、泉崎カントリービレッジにて、生産者・こころや・こころんメンバー合わせて約 30 名が集まり、交流会を実施しました。

こころやスタッフから平成 19 年度の事業報告、来期の事業計画について説明の後、生産者との活発な意見交換がされました。

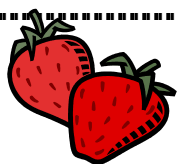
日頃店で顔を合わせていても、ゆっくり話すことができない生産者のみなさんと、こころやを支える同志として、店の発展や将来について語り合い、貴重な時間を過ごすことができました。

交流会に参加して

私がこころやで働かせて頂くようになって、もうすぐ一年になります。今回、交流会に参加しましたが、生産者の皆さんの考えや意見などを聞くことが出来て良かったです。

私が初めてこころんに行くようになった時は、こころやで働くことは考えられませんでした。周りのスタッフや仲間、そして商品を出荷して下さる生産者の方々のおかげで働く事が出来るのだと、改めて思いました。

これからも、お世話になることも多いと思いますが、こころやが地域の皆さんにとって無くてはならないお店になるように、頑張っていきたいです。(緑川 克也)



いちごまつり

3月1日・2日、こころやで「いちごまつり」を開催しました。おかげ様で成功に終わったので、良かったと思います。

今にして思うと開催前にチラシを配った時からお客様の反応が良く、「必ず来るよ」と声をかけていただき、言葉を通り当日は沢山の皆さんが着てくれたのは、嬉しかったです。

私自身は、カフェの仕事の合間に甘酒コーナーを担当しましたが、年配の方々から懐かしいと言って貰ったのも印象的でした。(今宮 智真)



こころやからのメッセージ～春菜編

いつも「こころや」をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

暖かい雨が降り、里も野山もいっせいに芽を吹く季節となりました。こころやにも新鮮な春菜が所狭しと並び始めましたので、今回はちょっと目新しい野菜を紹介させていただきます。

春一番にお目見えするは紅い茎が目印の「紅菜苔」(コウサイタイ)。アクが少なく下茹でなしで炒め物ができます。おひたしや味噌汁の具としても重宝する便利菜です。他にもゴマに似た風味の「ルッコラ」、アスパラの食感にも似た「オータムポエム」、お料理に彩を添える「チャービル」など、どれも厳しい冬を乗り越えて育った路地物です。どうぞ、一度お試し下さいませ。

ここで紹介いたしましたお野菜は「気まぐれランチ」の食材として使っておりますので、こちらもぜひご賞味いただければと思います。

では、みなさまのご来店お待ちしております。(富永 美保)

ちょっと
報告

メディアで紹介されました!



ふくしまを楽しむ大人の情報誌
「Mon mo」(モンモ)No.15号春

「春のなごみカフェ」の特集の69ページ
に紹介されました

リーズナブル
ですね~



ふくしまスーパーJチャンネル

少し前の話ですが、昨年9月27日に生放送で
紹介されました!

直売所の商品をご紹介いただいた後、カフェ
のメニューを試食していただきました。

みんなのひろば

自分史

出身は神奈川県で、両親と兄弟の5人家族で育ちました。現在は両親と私の3人で生活しています。

車が好きで整備士として勤務する傍らレーシングドライバーを目指し、19才から26才までアマチュアで参戦、その後29才で発病するまでプロとして活動していました。

その時、本格的なレーサーを目指し渡英。今思えば、その時絶対に勝たねばと思い自分に過剰なプレッシャーをかけ、テンションが異常に高くなりました。自分のコントロールが出来なくなり、帰国後家で暴れてしまい1年間入院しました。

発病当時は自分も両親も病気の事も良く分からず、薬を飲まなかったり、1人暮らしで状態もひどく、仕事も人間関係もうまくいかなくなっていました。

7年前に西郷の実家に戻り、2年間入院しました。退院後はしっかり治療を受け、薬を忘れず飲む様になり、家族も一生懸命病気の事を勉強して理解して貰いました。なごみの家共同作業所へ通うことになり、生活のリズムを整えながら、人間関係についても学びました。

その後、通りハで約3年間、工場で週3日働き、体力もたいがう付いてきました。

こころやでの1年半の職業訓練、会田病院での3ヶ月の施設外訓練を経て、現在はなごみの家で作業の取りまとめなどを任せていただいています。

何事にも積極的に取り組める様になり、毎日が楽しく感じられる様になりました。(栗原真)

1月のピアカウンセリングでの発表より抜粋。

発表後は、「家族に病気を理解してもらうために何をすべきか」について、メンバー同士が意見を出し合いました。こころんは、メンバー同士が話し合い、問題の解決方法を見出していく、「ピアカウンセリング」を重視し、定期的開催しています。

アイスクャンドに参加して

1月26日、白河市のアウシュヴィッツ平和博物館でアイスクャンドル2008が開催さ、私はこころやの商品を販売担当として参加しました。

アイスクャンドルは牛乳パックと空き缶を使って水を凍らせたものに、ろうそくを入れて火をともします。とてもきれいで幻想的でした。とてもあたたかい光でした。その中でアウシュヴィッツ開放と犠牲者の追悼をするそうです。

風が強くととても寒い日で雪もちらついていましたが、たくさんのお客様がこころやの商品を買って下さいました。

商品についてお客さまとお話するのは、とても勉強になりました。こころやのケーキを食べながらゴスペルを聞いているお客様もいて、とても嬉しかったです。

販売活動は大変でしたが、その分勉強できたことも多く、とても良い日になったと思います。(チップ)



こらんぼフェスタに参加して

1月26日に「こらんぼフェスタ」へ行きました。「こらんぼ」とは、NPOやボランティアに皆で参加してみようという趣旨の集まりです。

当日決められた場所で、こころや商品などを並べて売場を作り、お客様を迎えました。

ステージでは、メインゲスト「ダニエル・カール」さんの講演がありました。外国人の目線での日本を面白く語られ、そして外国人のボランティアの在り方を話されました。

こころんをご存知のお客様が多く、トマトとしいたけが人気でした。

ボランティアやNPOについて新たに学べたフェスタでした。

(細腕繁盛記)



こころん就業セミナー

こころんでは一般就労を目指す方を対象に、月1回就業に関する勉強会を開催しています
その内容の一部をご紹介します

1月18日 職場見学会



大木代吉本店では、お酒を造る蔵や、最後のラベル貼りの工程を見せてもらいました。

大木専務によると、同社は障害のある方も他の従業員と働く時間も職務内容も特別区別はしていないそうで、適材適所に配置され、活躍されている様子をお聞きしました。

会田病院では、こころんのメンバーが施設外訓練として洗濯業務などを請け負っている現場を見学しました。看護部長からは、こころんのメンバーについて、「仕事も丁寧で、貴重な戦力になっている、職域の拡大を検討していること」を話して下さいました。

2月19日 接客研修会参加

白河市文化センターにて開催された、新白河広域観光連盟主催の「観光接客サービス研修会」に参加しました。

「ワンランク上のサービススタッフを目指す」をテーマに、お客様の心理を踏まえたマナーについて、実践を交えてご指導いただきました。



3月18日 「働くこと」について語り合おう！

就労についてテーマを絞ったピアカウンセリングを実施。メンバーの一人が「しごと史」を発表した後、職業訓練中に起きたメンバー間での問題をみんなで話し合いました。

一つのことをみんなで考えることによって、様々な見方、考え方があり、自分の考えが整理できる貴重な体験でした。「親しき仲にも礼儀あり」等、言葉の遣い方から働く姿勢まで色々な意見が出ました。職場間の人間関係のトラブルはよくある事なので、対策も学べて良い勉強になりました。(MIKA)

私のしごと史

4才の時に交通事故(頭部外傷)で4年半入院、その後はけいれん発作が頻繁に起こり、学校も充分に行けず、会社に勤めては発作が起きて退職を繰り返していました。

2年前からこころんに通っています。こころんでは全部の話を聞いてくれて、まず病院を変えました。薬の量を調節してもらい、発作はほとんどなくなりました。また、年金の手続きをし、経済的安定が得られました。いつでも相談できる人ができ、人とうまく話せなかったのが、うまく対応できる様になりました。

こころんでの訓練は初め、仕事の切り替えがうまくできず、時々パニックになっていました。今はスタッフが無理しなくても良いと言ってくれるので、安心して仕事は出来ています。

昨年12月から週4日、会田病院で施設外訓練を開始。ジョブコーチが仕事の段取りを計画してくれて、病院内で相談できる人も確認してくれているので安心です。

今後は1日の勤務時間を少しずつ延長していき、将来雇用につながることを希望しています。

(通りすがりの旅の者)

寄付・寄贈をいただいた方（敬称省略・順不同）

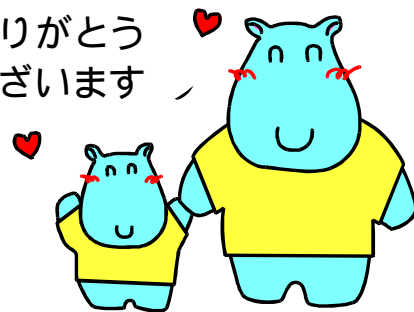
鈴木善一 吉田孝雄 金子鮎子 小林徳男 匿名1

新しく会員になられた方（敬称省略・順不同）

《正会員》小玉裕子 金子鮎子

《賛助会員》なし

ありがとう
ございます



こころんの活動資金を募集しています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします

お知らせ



活動報告

- 12月11日 施設見学
- 12月13日 にこにこや開店
- 12月18日 クリスマス交流会
- 12月27日 なごみの家家族会
- 12月28日 大掃除&温泉
- 1月5日 こころや初売り
- 1月10日 書初め
- 1月22日 職場見学会
- 1月26日 こらんぼフェスタ
アウシュヴィッツアイスキャンドル
- 1月29日 映画を観に行こう！
- 2月1日 豆まき&福茶
- 2月12日 お菓子をつくろう！
- 2月15日 源流の里交流会
- 2月19日 接客サービス研修会参加
- 2月25日 こころや交流会
- 3月1・2日 こころやいちごまつり
- 3月7日 総合防災訓練
- 3月18日 就業ピアカン
- 3月25日 地域清掃活動



今後の予定

- 4月17日 絵画教室・お-セビ-
バレーボール大会
- 4月16~21日
こころやさくらウィーク
各種加工品などもりだくさん！
- 4月22日 花見・桜スケッチ
- 4月24日 卓球教室
- 5月16日 烏峠清道路沿清掃活動
- 5月31日 こころん総会・講演会



こころん講演会
「チャンスは誰にでも
与えられるべきです」

~社会全体のこころのバリアフリーを
一緒に考えませんか~

日時：5月31日(土) 15時~

会場：白河市東文化センター

内容：

講演会：広田和子氏
(精神医療サイバー&保険福祉コンシューマー)
当事者からのメッセージ
自主製品の販売など

..... 編集後記

桜の花びらも満開で、春らしい日が多くなってきました。グループホーム新設に向けて新しいメンバーさんの来訪も増え、こころんも新たな1歩を踏み出す時となりそうです。

平成19年度は、広報の発行が3回のみとなり、楽しみにして頂いている会員さまには大変申し訳ございませんでした。

新年度を迎えるにあたり、こころん通信もより読みやすいよう新コーナーを設けるなど、少しですが紙面刷新しています、内容も行事報告に留まらず、メンバーの声・各施設の日常をもっとお届けできるよう、徐々に充実させていきたいと考えています。(植木)

アウシュヴィッツ平和博物館よりお知らせ

アウシュヴィッツ平和博物館は今年4月に会館5周年を迎えます。ご支援ご協力に対して厚くお礼申し上げます。

当館は、第二次大戦中にナチスドイツが占領地ポーランドに建設した、アウシュヴィッツ収容所の犠牲者の遺品、記録写真資料を常設展示する日本で唯一の博物館です。150万人の尊い命が奪われたアウシュヴィッツの惨禍を通して、命の尊厳と平和の価値を学び伝え、差別のない希望に満ち心暖まる社会の実現に寄与していきたいと願っています。

開館時間

9 - 17時 火曜日休館

入館料

一般500円 小中高生300円

所在地

福島県白河市白坂三輪台245
0248-28-2108

*こころんはアウシュヴィッツ平和博物館の趣旨に賛同し、同館のイベント等に積極的に参加しています。